

---

《宛先》 御中

FAX («FAX\_No»)

---

2010年9月1日

## News Release

三久建設株式会社

**廃セッコウボードの安心・安全リサイクルプラント始動**  
—廃セッコウボードのリサイクルプラント、氷見市内で設置計画、  
アジア最大の展示会で発表—

【新規発表事項】

土壌改良固化材の開発・販売の株式会社 ETS ジャパン（富山県氷見市、代表取締役 西川宝三）は、製造を委託している三久建設株式会社とともに、リサイクルの確立が急務となっている建設廃棄物の一つである廃セッコウボードの最終製品化までの一元化リサイクルプラントの設置について、9月に氷見市内で操業を開始した。

（処理方法：破碎・選別・熱処理・不溶化处理・リサイクル材料化・製品化）

（処理能力：破碎・選別→500t/月、不溶化处理→2000t/月）

これは(株)ETS ジャパンが独立行政法人国立高等専門学校機構・富山高等専門学校（富山県富山市、校長：米田政明、以下国立富山高専）とセッコウボードメーカーのチヨダウーテ株式会社（三重県四日市市、代表取締役社長 平田晴久）とで検討を進めてきた、フッ素不溶化剤「F クレスト」が世界で初めて用いられます。

【背景】

建設廃棄物として全国で年間約170万トン発生する廃セッコウボードは、そのリサイクルが渴望されていながらも、その技術が確立されていないために多くが最終処分場に処分されています。しかし、セッコウに起因する硫化水素発生の事案などを踏まえて平成18年に廃セッコウボードの管理型処分場への処分が義務づけられたことに伴い、処理コストの高騰、処分場の不足などをうけて、その安心安全なリサイクル技術が全国で期待されています。そのリサイクル技術として、建設汚泥や軟弱地盤の固化材として廃セッコウボードから回収されたセッコウを活用し、再生土としてリサイクルする技術に注目が集まっているところです。

平成21年3月に環境省がとりまとめた、「平成20年度廃石膏ボードの再資源化促進方策検討業務調査報告書」において、廃セッコウボードを原料とした建設汚泥、土壌固化材については、その有用性は評価しているものの、一部のセッコウに含まれるフッ素化合物の問題が指摘されているところです。フッ素化合物が含まれたセッコウを建設汚泥や土壌の固化材に用いると、得られる再生土からのフッ素化合物の溶出による土壌汚染が危惧されます。そこで、セッコウからのフッ素化合物の除去や溶出の抑制技術が要求されているところです。

---

---

### 【訴求点】

この問題点に早くから着目してきた(株)ETS ジャパンでは、平成 17 年に富山県が NPO 法人エコテクノロジー研究会に委託して行っていた「産業廃棄物排出事業者に対する技術相談・アドバイザー事業」に応募、対策技術の検討を進めてきました。

国立富山高専では、袋布昌幹（たふまさもと）准教授と丁子哲治（ちょうじてつじ）教授がある種のリン酸カルシウムが環境中の微量フッ素化合物を難溶性の鉱物（フッ素アパタイト）として不溶化できることを見いだしており、その技術を利用したセッコウ中のフッ素化合物の不溶化を、我が国第二位のセッコウボードメーカーであるチヨダウーテ(株)と進めていたため、この研究成果の活用により、富山県、北陸地方のみならず、国内外の廃セッコウボードリサイクル技術の確立を進めてきました。

この取り組みにおいて、チヨダウーテ(株)と国立富山高専は(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成を受けた実用化研究において、環境中のフッ素化合物の不溶化など、環境技術に適したリン酸カルシウム塩の製造技術を構築し、今年 5 月に商品名「F クレスト」として、商社の阪和興業株式会社（大阪府中央区）を通して、全国で販売することとなっています。（具体的な発売開始時期は未定）

(株)ETS ジャパンは、この技術を世界で初めて導入し、技術ライセンスを取得して、北陸地方から回収される廃セッコウボードを用いて建設汚泥や土壌の固化材を製造、販売することとしたものです。

### 【今後】

本技術は、地域における廃セッコウボードの安心・安全リサイクルシステムの構築に貢献するものであり、この「とやま発セッコウリサイクルシステム」を全国と共有し、我が国の廃棄物の循環利用に貢献することが可能となります。

現在国立富山高専が中心となって進めている環境省循環型社会形成推進科学研究費補助金の事業に(株)ETS ジャパンも積極的に協力することにより、未来志向の安心・安全リサイクルシステムの発信を進めていくことを目指します。

### 【備考】

本リリースにおける、フッ素不溶化剤「F クレスト」は、チヨダウーテ(株)と国立富山高専が進めてきた新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO 技術開発機構) 大学発事業創出実用化研究開発事業による研究成果であり、廃石膏ボードのリサイクルシステムの構築については、国立富山高専が中心として進めている環境省循環型社会形成推進科学研究費補助金の事業として進められているものです。

---